

■プロジェクト名

AI を活用したプラスチック分別サービスに係る実証実験

■事業者名

LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社



■実証実験の概要

○実証実験の背景

福岡市では、CO2削減や更なるごみ減量に繋げるため、令和 9 年 2 月からプラスチックの分別収集を開始する予定としている。

本実証実験では、スマートフォンで手軽に分別区分が判定できる「AI 分別サービス」を市民の方に利用いただき、サービスの精度や市民の負担軽減効果を検証した。

○実証実験の内容

【実証内容】 分別したいモノの写真やテキストを入力すると、分別区分が表示される「AI 分別サービス」を市民の方にご利用いただき、サービスの精度や市民の負担軽減効果を検証。実証開始時は、プラスチックかどうかのみを判定するサービスだったが、市民の更なる利便性向上に向け、途中から全ごみ区分を判定できるサービスへ拡大。

【実証期間】 令和7年 10 月 25 日～令和8年 6 月 30 日

【対象者】

令和7年 10 月開催の「環境フェスティバルふくおか」来場者、および「プラスチック分別収集プレ実施地区」にお住まいの方を含む、市民の皆さま

・プラスチック分別収集プレ実施地区

①東区香陵地区・南区弥永西地区
(令和7年 11 月)

②東区筥松地区・中央区当仁地区
(令和8年 2 月)

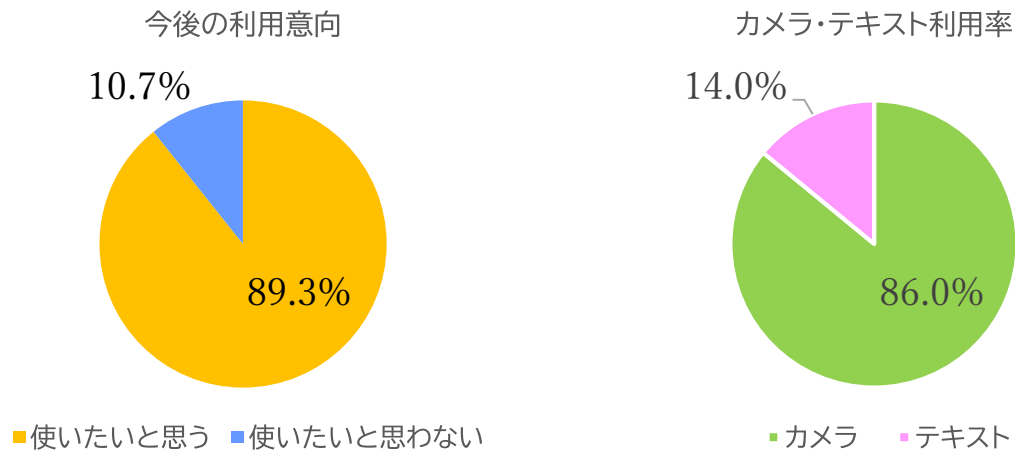
③城南区堤丘地区・早良区飯倉中央地区
(令和8年6月)



■実証実験の結果

アンケート回答者のうち、約 9 割の利用者の方から「今後も利用したい」との利用意向が確認できたことや、手軽に入力できるカメラ撮影による判定が 8 割以上を占めたことから、市民の負担軽減に寄与したものと考えられる。また、今回の実証を通して一定の判定精度も確認できた。

以上のことから、本実証実験の目的であるサービスの精度や市民の負担軽減効果について、一定の有効性が示唆された。



■問い合わせ先

LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社 (<https://lin.ee/NUzuQpl>)

環境局資源循環計画課 (092-711-4308、keikaku.EB@city.fukuoka.lg.jp)